

活用シート6	問題用紙	年 組 番	名前
--------	------	-------	----

答えは、解答用紙の解答らんにかいとうに書きましょう。

(一) みわさんは、次のように、あるきまりにしたがって式をつくり、計算をしています。

①の式 $1 \times 9 + 1 = 10$

②の式 $12 \times 9 + 2 = 110$

③の式 $123 \times 9 + 3 = 1110$

④の式 $1234 \times 9 + 4 = \square$

1 ④の□に当てはまる数を書きましょう。

2 みわさんは、②の式の答えが①の式の答えより100大きくなったことについて、次のように説明しました。

〈みわさんの説明〉

②と①の式の9をかける数の差は、
 $12 - 1$ で11です。
 また、9をかけた後にたす数の差は、
 $2 - 1$ で1です。
 $11 \times 9 + 1 = 100$ だから、
 ②の式の答えは①の式の答えより100大きくなります。

みわさんの説明を参考にして、③の式の答えが②の式の答えより1000大きくなったことについて説明します。解答用紙の□に当てはまる数を書いて、説明を完成させましょう。

(二) けんたさんは、次の質問をして、さえさんの誕生日^{たんじょうび}を当てました。1、2の各問^かいに答えましょう。

けんた 「さえさんの誕生日を当てるよ。

まず、① 生まれた日の数に2をかける。

次に、② その答えに5をたす。

今度は、③ その答えに50をかける。

そうしたら、④ その答えに生まれた月の数をたす。

最後に、⑤ その答えから250をひく。

今の答えはいくつ。」

さえ 「⑥ 1110よ。」

けんた 「さえさんの誕生日は、10月11日だね。」

さえ 「すごい！当たったわ。どうして答えた数から誕生日が分かるのかしら。」

1 たんじょう日が12月20日のとき、上の①～⑤の順序^{じゅんじょ}で計算すると⑥はいくらになりますか。答えを書きましょう。

2 けんたさんが自分の誕生日で、上の①～⑤の順序^{じゅんじょ}で計算すると⑥が1007になりました。けんたさんの誕生日は何月何日ですか。答えを書きましょう。

(三) ゆきなさんは、電卓^{でんたく}を使ってかけ算の学習をしていたときに、1がならば数字のかけ算にはおもしろいきまりがあることに気付きました。

$$\begin{array}{l} 11 \times 11 = 121 \\ 111 \times 111 = 12321 \\ 1111 \times 1111 = 1234321 \end{array}$$



ゆきな

答えの数の並び方にはきまりがありそうね。

11111 × 11111は、電卓を使わなくても答えが出せそうだよ。

1 11111 × 11111の答えを書きましょう。

2 ゆきなさんは、11 × 11の筆算をして、答えの数の並び方のきまりについて説明しました。

〈ゆきなさんの説明〉

$\begin{array}{r} 11 \\ \times 11 \\ \hline 11 \\ 11 \\ \hline 121 \end{array}$	11 × 11の筆算をみると答えは3けたで、いちばん大きい百の位といちばん小さい一の位は、1しかないの で1です。
$\begin{array}{r} 11 \\ \times 11 \\ \hline 121 \end{array}$	まん中の十の位は1を2個たすので2です。 だから121になります。

1 1 1 × 1 1 1 の答えが 1 2 3 2 1 になることを、**ゆきなさんの説明**を参考にして、 に当てはまる言葉や数を書いて、説明を完成させましょう。

$$\begin{array}{r} 1\ 1\ 1 \\ \times 1\ 1\ 1 \\ \hline 1\ 1\ 1 \\ 1\ 1\ 1 \\ 1\ 1\ 1 \\ \hline 1\ 2\ 3\ 2\ 1 \end{array}$$

1 1 1 × 1 1 1 の筆算をみると、答えは 5 けたです。

いちばん大きい一万の位といちばん小さい一の位は、1 しかないので 1 です。

2 番目に大きい千の位と 2 番目に小さい十の位は、

まん中の百の位は、

だから、1 2 3 2 1 になります。

活用シート 6	かいとう 解答用紙	年 組 番	名前
---------	--------------	-------	----

(一)

1	
2	<p>③と②の式の9をかける数の差は、 $\square - \square$ で \square です。 また、9をかけた後にたす数の差は、 $\square - \square$ で \square です。 $\square \times \square + \square = \square$ だから、 ③の式の答えは②の式の答えより1000大きくなります。</p>

(二)

1	
2	月 日

(三)

1	
2	<p> $\begin{array}{r} 111 \\ \times 111 \\ \hline 111 \\ 111 \\ 111 \\ \hline 12321 \end{array}$ </p> <p>111×111の筆算をみると、答えは5けたです。 いちばん大きい一万の位といちばん小さい一の位は、1しかないので1です。 2番目に大きい千の位と2番目に小さい十の位は、 \square まん中の百の位は、 \square だから、12321になります。</p>

分かりにくいところはなかったかな？周りの人と相談してみよう。(^-^)"g"



(一) 1 1 1 1 1 0

2 ③と②の式の9をかける数の差は、

$$\boxed{123} - \boxed{12} = \boxed{111}$$

また、9をかけた後にたす数の差は、

$$\boxed{3} - \boxed{2} = \boxed{1}$$

$$\boxed{111} \times \boxed{9} + \boxed{1} = \boxed{1000}$$

③の式の答えは②の式の答えより1000大きくなります。

(二) 1 2 0 1 2

2 7月10日

【解説】

十の位と一の位の数を2けたの数を見た数が誕生日の月を、千の位と百の位の数を2けたの数と見た数が日を表しています。

(三) 1 1 2 3 4 5 4 3 2 1

2 2番目に大きい千の位と2番目に小さい十の位は、

$$\boxed{1} \text{を} 2 \text{個たすので} 2 \text{です。}$$

まん中の百の位は、 $\boxed{1}$ を3個たすので3です。

だから、1 2 3 2 1になります。